



全 景

七尾高等学校は、創立以来百年を超える伝統を持つ能登地域の基幹校として位置付けられている。新たな時代の要求に応じ全面改築するにあたって、築き上げられた伝統を受け継ぎつつ、次世代の多様な利用形態に対応する計画を行った。



学生ホール



進路学習室




アトリウム


地域に開かれた学校 : 体育館、アトリウム等を地域の人々の利用に供するとともに、校地周辺を取り囲む障害をできるだけ排除

サステイナブル(持続可能) : 将来的な変化にも柔軟に対応

多様な活動・交流の場 : コンパクトな回廊型教室棟に屋根を架けることによりアトリウムを形成

伝統の継承 : 七尾高等学校の象徴として深く同窓生の印象に刻まれている、天体観測ドームを新校舎にも建設

 : 教室棟において県産能登ヒバを使用

 : 床タイル・カーテン・インターロッキング・防球ネット・間仕切り壁

DATA

七尾市藤橋町地内
平成15年10月～平成18年1月
10,605㎡

管理棟
RC造 : 4F
3,499㎡

教室棟
RC造 : 4F
7,105㎡